

平成22年度第1回小国町地域公共交通会議 会議概要

- 1 日 時 平成22年5月18日（水）午後1時15分～2時
- 2 場 所 おぐに開発総合センター 集会室
- 3 出席委員 小林新太郎、山口修一、安部春美、本間芳夫、伊藤正夫、加藤豊一、安部忍、横山隆、兼平悟、石井真吾、齋藤一、渡部好一、渡部三典、鈴木重雄（代理）、杉田政篤（代理）、渡部敏明（代理）
- 4 内 容

（1）委員の委嘱について

全ての委員に対して、平成22年4月1日付けで委嘱状を交付した。

（2）協議について

①平成21年度事業報告並びに収支決算について

平成21年度事業報告、収支決算について会議資料に沿って事務局より説明を行い、その後会計監査報告を安部春美監査委員より行った。

会計監査報告の後、平成21年度の事業報告並びに収支決算について以下の質疑応答があった。

【交通会議委員】

決算書の事業費のデマンドタクシー運行経費について、予算額3,103,000円に対し、決算額が2,263,440円と839,560円の減額となっているが、この理由について伺いたい。

【事務局】

デマンドタクシーについては、運行曜日、時間帯は決まっているが、予約がある場合にのみ運行するため、運行しなかった場合はその分の運行経費が不要となる。予算額は全ての便で予約があった場合の試算経費として計上しており、運行しなかった便の委託料分が予算からの減額分と考えていただきたい。

以上の質疑応答の後、平成21年度事業報告、収支決算については異議無く承認された。

②平成22年度事業計画並びに収支予算について

平成22年度事業計画（案）、収支予算（案）について会議資料に沿って事務局より説明を行った。

事務局からの説明の後、以下の質疑応答があった。

【交通会議委員】

予算書の事業費のデマンドタクシー運行経費については、白沼線と足中線の運行経費のみの額ということによろしいか。

【事務局】

そのとおりである。

【交通会議委員】

予算書の事業費について、3月に国土交通省に対して小国町地域公共交通会議から提出いただいた「小国町地域公共交通活性化・再生総合事業計画」に記載してある足中線及び白沼線の運行経費と、この度の予算書の運行経費の額が多少違っているがこの理由は。

【事務局】

この度の予算書の額は今年の11月に積算した額であるため、3月に積算した「小国町地域公共交通活性化・再生総合事業計画」に記載してある経費とは若干の違いがある。

以上の質疑応答の後、平成22年度事業計画（案）、収支予算（案）については異議無く承認された。

③平成22年度デマンドタクシー実証運行に係る足中線、白沼線の路線の追加について

平成22年度に実施する足中線及び白沼線のデマンドタクシー運行路線については、昨年度の交通会議において承認を得ているが、予約状況に応じてより短い距離、時間で目的地に到着できるように町中心部の運行経路を追加することとして事務局より説明を行った。

委員からの質疑応答は無く、異議無く承認された。

④平成22年度デマンドタクシー実証運行に係る足中線、白沼線の料金について

平成22年度に実施する足中線及び白沼線のデマンドタクシー利用料金につ

いては、昨年度の交通会議において、現在の町営バス足中線及び白沼線の利用料金をそのまま適用することとして承認を得ているが、デマンドタクシー実証運行開始に伴ってこれまでの町営バスでは運行していなかった百子沢、朝篠、間瀬各地区へも運行することとしており、これらの地区へ運行した場合の料金設定について会議資料のとおり事務局より説明を行った。

委員からの質疑応答は無く、異議無く承認された。

⑤その他

事務局からの提案議題は無かったが、委員より意見が出され以下の質疑応答が行われた。

【交通会議委員】

白沼線について、電興診療所を経由することはできないか。

【事務局】

これまでも町営バスを利用して電興診療所に行く場合は、町営バス循環線を利用してもらうこととしている。このことについては他の路線についても同様であり、他の路線との整合性もあることから6月1日からの運行については、これまでの経由地と同様とさせていただきたい。

以上の質疑応答をもって会議を終了した。